

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 兵隊第一〇三〇五部隊
- 一、死歿年 昭和十三年 役別 豫備兵 兵種 歩兵
- 一、可等(死歿前)兵種 (死歿後)
- 二、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 ハリリハス
- 一、死歿區分並ニ事由 [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和十三年四月二十日 午後一時
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和十三年八月十五日 元所屬部隊名 兵隊第一〇三〇五部隊
現住所 [Redacted]
元官等級 兵隊
氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベシク「特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニサツタ者ハソノ前後ヲ
クワシシテ知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

[REDACTED]

氏 名

年 月 日生

北島派遣

第 1 卷

后生

水陸

三、戰死者徵集年 月 日 三 年 役種 兵種 兵 死亡前官等級 陸軍 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時及場所 昭和二十一年三月至三月三十一日，東北方，戰死於大分縣。

五、戰死現認ノ程度 重傷者リト [redacted] 伍長言リ、其後不明

六、遺骨隨處，有無

七、戰死當時，狀況，概要 前記、自朝鮮北北先鋒隊

八、死亡區分 戦死 事由 戦争上 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其他(上陸部等に於て死亡せる者、依り申立、都府廳縣整理班、又ハ不問毎記入)申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

10、道族ノ現住所

戰死者下ノ續柄妻

氏 名

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和十二年 二月二十五日

證明者住所

戰死者ノ關係

所屬部隊名

兵權步兵官署陸軍部長

氏知

市町村長證明箇所

石炭紀

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名義柄 戸主

氏名

年 月 日生

三、所属 國 軍 部 隊 名

比島派遣

第

部隊

隊

三、戦死者徵集年

昭和

年

月

日

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和

年

月

日

時

分

秒

中

五、戦死現認ノ程度

推定

戦死

推定

戦死

推定

戦死

推定

戦死

六、遺骨歸還ノ有無

有

無

有

無

有

無

有

無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

八、死亡區分

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

九、其ノ他

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

戦死

四、遺族ノ現在所

戦死者ノ親類

父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

証明者住所

戦死者ノ関係

所屬部隊名

兵種

官等級陸軍少佐

氏名

証明者住所

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

死亡現認証明書

45-18

所屬部隊 (國有) **陸軍第五師団** (通稱) **旭二二部隊**
 役職 **兵衛 歩兵**
 官等級 **陸軍少佐**
 氏名 **[REDACTED]**
 生年月日 **[REDACTED]** 年 **[REDACTED]** 月 **[REDACTED]** 日生
 留守擔當者 **[REDACTED]**
 親柄父氏名 **[REDACTED]**

死	年月日時及區分	昭和二十年四月二十五日 / 時 / 分 戦死
亡	場所	北島名兵島マダガスカルバキ大市東北八村
傷 (病)	傷 (病) 名	頸部貫通銃創
受 (罹)	年月日時	昭和 年 月 日 時 分
傷 (罹)	場所	
傷 (罹)	傷 (病) 名	
戦死 (病死) の状況	北島名兵島マダガスカルバキ大市南八村 旭二二部隊は、南地を占領し、昭和二十年四月二十五日、 北島名兵島マダガスカルバキ大市東北八村に、 敵軍と遭遇し、戦死した。	
受傷 (罹病) の状況	戦死した。	
内地・港灣・出發	年月日	不明
戦地到着	年月日	不明
勤務の概要	不明	

右の通り現認したことを証明す

昭和二十年五月七日

本署長

所屬部隊 **旭二二部隊**

官等級

陸軍少佐氏名 **[REDACTED]**

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 属 部 隊 固 有 名 マニラ防衛司令部 通 信 隊	職 位 補 歩 兵 官 階 一等兵 名 姓 [Redacted]	死 亡 年 月 日 時 昭和 年 月 日 時 死 亡 場 所 モンテルパン山車	死 亡 區 分 戦 死 傷 病 名	發 症 (受 傷) 年 月 日 昭和 年 月 日 進 士 官 以 上 任 官 年 月 日	死 亡 時 刻 死 亡 時 刻 遺 留 品 有 無	右 證 明 候 也 昭和 年 月 日 所 属 部 隊 現 住 所 官 等 級 氏 名 印 地方世話部長 [Redacted] 殿
------------------------------------	---	--	-------------------------	---	------------------------------------	---

現認書

本籍地
部隊名
官軍代名

才内服空通分隊

死亡年月日 昭和三年四月二十日

死亡場所 小高島

死亡理由 第一線中迫唐砲彈ヲ撃打受ク

死亡区分 戦死

右現認

現認者

本籍地

部隊名

官軍代名

第十七航空通信隊

陸軍中尉

現認書

本籍地

部隊名

官署氏名

死亡年月日 昭和三年四月二十日

死亡場所 小島 甘多崎

死亡理由 第一線中腹部被彈炸死

死亡区分 戦死

右現認入

現認者

本籍地

部隊名

官署氏名

第七航空通信隊

陸軍中尉

現認書

本籍地

部隊名 水戸航空通信隊

官等氏名 平上

死亡年月日 昭和三年四月二十六日

死亡場所 比島少島 薩摩ササキ峠

死亡理由 第一線陣戦中迫近砲彈被リ頭部破片創、高戦死

死亡区分 戦死

右現認入

現認者

本籍地

部隊名 第七航空通信隊

官等氏名 陸軍中尉

戦時死亡者調書

官氏名印	現認者所屬	(病罹) 傷受			亡 死			留守担当者住所氏名	官等級氏名	役種徴集年	所屬部隊(固有名)	本籍地	區分	事
		傷(病)名	場所	年月日時	傷(病)名	場所	年月日及區分							
昭和二十一年三月二十日	陸軍軍部				昭和二十一年四月二十六日十四時三十分(戦傷)死、公葬	北島 義成 第一五三二部隊 馬尼ラ陸軍航空廠			死亡前ノ官等級 陸軍 一等兵	死亡後ノ官等級 陸軍 上等兵				

2個

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月十日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追記 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付為念

新属部隊	死	場所	事由	現役	氏名	本籍
此島渡邊	昭二	不ノウス	腹部貫通	現役	菅長	右
坂九丸七部隊	四月	ライム山中	銃創ニテ	現役	菅長	右
	二天日	双葉台	戦死	現役	菅長	右

右現認ス

現住所



水龍地

親任所

同

戸部卿威一六八九部隊

隊

官軍

死七候

陸軍一等兵

死七

年

月

日

年

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

死七

年

月

日

12-11

59-10

年 月 日生

此節派遣秩第七部陸

續出 迹 壬午二月九日 時辰 散 步 陽 澤 二 日 戰 正 午

九、其他(上陸地ニ於テ死亡者遺骸ニ依リテ申立カ、部隊遺骸整理班、申立ヌレバ上陸年月日及上陸地、葬儀決定カ、又不明登記人、)

氏名

氏名

市町村長證明箇所

三

93-10

戶主名 發柄 戶主 本人 至

氏

水島 派

三、戰死者徵集年 昭和 年 役種 希役 兵種 宇 兵死亡前官等級 陸軍 在 遺 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和四年四月二十七日、北支那、

五、戰死現認ノ程度

六、遺骨歸還、有無無

七、戰死當時，狀況，概要

陳地標狀及學士方連合等：於西間家新來丁二內潘我，其楊瑞有
李人在下肥之古所，言十音中後生也。北方亦少見，但得方後退已年許，而

八、死亡區分

也（上座地ニ於テ死亡者極多ニ依テ申立力、郵政廳並陸軍班、

（申立済ナレバ）上陸年月日及上陸船

口、遺族ノ現住所

我正著一書名曰：『日本』

氏 全

右ノ通り戦死セラレタルユトテ證明候也

昭和二十一年四月二十五日

證明者住

戰死者上ノ關係同部隊高級医官

所屬部隊名 比島派遣援我集團 兵團 大隊

兵種 官等級 陸軍 筆審中計

氏名

市町村長證明箇所

石相達何處之子發明

張新之 2014.10

無

[REDACTED]

近州

主理人 王國光

AD [REDACTED]

012

四

之 臨

等級陸軍二等官造昭和 年 月 日

家世町田正文 北部ニシシカシハエノナリ

二、聞々々本人真實不...

昭和三年四月二十三日 文部省 第二十二号 訓令 第一号 中 事 上 依

敬陳 覽 連示 下 了 大 時 上 實 之

發病年月日 昭和 年 月 日

又、郡民、陸務、整理、班、自立、済、ナ、バ、土、陸、年、月、日、及、上、陸、地

[REDACTED]

25

[REDACTED]

右ノ通り戰死セラレタルニトテ證明候也

昭和二十二年 年 月 日

[REDACTED]

比魯三書畫一冊三頁

官等級 陸軍

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名額柄

戸主

氏名

年

月

日生

二、所属部隊名 比叡派遣隊 第二二二部隊 九 隊

三、戦死者徵集年 昭和二十一年 役種 現役 兵種 砲兵 死亡前官等級 陸軍 少佐 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和二十一年四月二十日 文島サニエニエ 戦場中

五、戦死現認ノ程度 推定ス

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戦死當時ノ状況ノ概要

昭和二十一年四月二十日 文島サニエニエ 戦場中 敵機ノ襲撃ニ
テ車ニ乗リテ戦死ス

八、死亡區分 戦死 事由 戦害 発病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (左記ニ於テ戦死ニ當リテ、由立カ、部隊長等ノ証明ヲ、又ハ不問等証入) 申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ額柄

氏名

右ノ通り戦死セラシタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所属部隊名

比叡派遣隊 第二二二部隊
兵種 砲兵 官等級 陸軍 少佐

氏名

市町村長證明箇所

印

戦死者認定(證明)書

一 死歿者所屬部隊名(通稱)

一 徵集年

一 官等級(死歿前)

一 氏名

一 死亡場所

一 死亡区分並事由

一 死亡年月日時

一 死歿者本籍地留守担当者

縣民生部吉詰

伍長

(死歿後)

昭和 年 月 日生

リサール州モントハン 亡神名

生不

昭和 年 月 日 時

右確認ス

昭和 年 月 日

元所屬部隊名 油松基一ハ大

現在所

元官等級 上中

氏名 印

死者姓名(遺書)

縣民生部各誌課

一 死者所屬部隊名(遺書)

一 徵集年 昭和一 年 月 日

兵種 工 兵

一 官等職(死後) 一等 兵

(死後)

一 氏 名

[Redacted]

年 月 日

日生

一 死亡場所

リカール門 モンタールン 子神谷附近

一 死亡區分並事由

は下 (輸斗中)

一 死亡年月日時

昭和 年 月 日

時

一 死後者本籍地留守担当者

[Redacted]

右確認

昭和 年 月 日

日

元所屬部隊名

海兵隊一六六

現在所

元官等級

上等兵

氏名

[Redacted]

2/1-11

氏名

年 月 日 生

派遣員

任官進級
年月日昭和 年 月 日

五、戰死現認ノ程度无体體認

六、遺骨歸還，有無影響？

七、戰死當時之狀況之概要

敬郭春松近愿战士敬礼

死 亡 區 分 戰 死

事由 大塚部富貴 發病年月日 昭和 年 月

九、其ノ他(上陸地ニ於テ死亡者宛テ申立カ、部隊遺棄整理班)申立齊ナレバ上陸年月日及上陸地
 幹部等ヲ整理シ、又ハ不明船記入)

上陳於元元高學書二卷中元昭信三十五月九日 昭信書

10. 遺族ノ現住所

戰死者ノ續柄

氏名

右ノ通り戰死セラルコトヲ證明候也

昭和二十二年一月十七日

證明者住所

戦死者との関係

所屬部隊名

步兵第三聯隊
兵種 步兵 官等級陸軍 兵長

氏名

市町村長證明箇所

前書通，相建船之候也。

庄

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 横柄 信三

氏名

年 月 日生

二、所属 團 第 六 十 三 師 隊
連 隊 第 三 連 隊
班 第 三 班

三、戦死者徵集年 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時 昭和 年 月 日 時 分

五、戦死現況ノ程度 死体確認

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

前線交戦中、砲撃被害に遭ひ戦死

八、死亡区分 戦死

事由

発病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (遺体等ニ於テ戦死に疑義アリ申立テ、調査結果ニ依リ、戦死と認められず、病死等と認められたる者) 申立書ハ、昭和 年 月 日 提出

一〇、遺族ノ居住所

戦死者上ノ親類

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者上ノ親類

所属 部 隊 名

第 六 十 三 師 隊

兵 種 歩 兵 官 等 階 級 中 士

氏 名

市町社長證明箇所

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

印

182-11

現認証明書

戦死証書

所屬部隊

氏名

死亡年月日

傷病名

死亡時状況

独立歩兵第一七四大隊

陸軍伍長

昭和三十年四月二十七日十二時三十分

戦死（頭部貫通銃創）

比島オケビス島トビテ西南方三軒

白現認候也

六日

現認者

氏名

陸軍曹長

所屬部隊百二師旅第一七四大

陸軍部長殿

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 第九〇四部隊
- 一、徵集年 昭和二十年 役種 兵種 航空
- 一、官 等(死歿前) 二等兵 (死歿後) 伍長
- 一、氏 名 [Redacted] 年 月 日生
- 一、死歿場所 北野ルン島 イムン 秋の陣地 銃弾創
- 一、死亡臨分館ニ理由 戦死
- 一、死歿年月日時 昭和二十年 四月二十八日
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年 月 日

元所屬部隊

現住所

元官等級

氏名印

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ甚難後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナラタ者ハソノ難後ヲクワシクオ知ラセドサイ

宛先

地方世話部鑑定係

戦死者認定（證明）書

一 死歿者姓 氏 名 部 隊 名（通稱）

一 徴集年 月 日 役 種 目

一 官 等 級（死歿前） 一 卒 兵 種（死歿後）

一 氏 名 年 月 日 生

一 死 亡 場 所 リザールマニア東方七神令附近

一 死 亡 區 分 並 事 由 不

一 死 亡 年 月 日 時 間 昭和 20 年 4 月 28 日 時

一 死 歿 者 本 籍 地 留 守 担 当 者

右 確 認 ス

昭和 22 年 4 月 日

元 部 隊 名 海 兵 隊 一 八 大

現 在 所

元 官 等 級 陸 軍 上 等 兵

氏 名 印

民生部古語課

昭和二十二年六月十六日	遺族不替地及現住所 遺骨遺骨 一名 有無	可保市人町五丁目五番五 番森市所附子橋本一 其不村妙子 遺骨 遺骨 遺骨	野矢上隊 20.4.28 ルリシ島 上島兵 上島兵	杉四七三八報 20.4.28 ルリシ島 上島兵 上島兵	昭和十九年十月十日 昭和二十二年十一月十一日 昭和二十二年十一月十一日 昭和二十二年十一月十一日	昭和十九年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日	昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日	昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日	昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日 昭和二十二年七月二十日
--------------------	---	---	--	--	---	---	--	--	--